県内景況情報

11月期

製造業

〈食料品〉

〔野菜漬物製造業〕

11月は３年振りに野菜類の価格が暴落したため、売れ行きが少し減少した。漬物の場合は、野菜の価格の動向によって売れ行きが作用されます。また、福岡県産高菜の生産量減少によって、産地そのものが消滅の危機にあり、大変危惧しています。

〔しょう油・食用アミノ酸製造業〕

輸入原料の大豆、小麦の仕入れ価格が高止まりの状況である一方、販売価格の改定も出来ず、売上高、収益とも厳しい状況である。

〈木材・木製品〉

〔木材製造業〕

組合員の需要に少し差がでているようだ。まだまだ、順調な建売物件に関わるプレカット業者やそれに伴う納材業者は堅調。輸出用リン木・梱包材も動きが良いようだ。逆に店舗の改修や増改築、リフォームを扱う材木店は厳しい状況かと思われる。台風被害の保険での修理等が増え職人が不足しているようだ。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・銑鉄業〕

やっと好調に向かいつつあったところ、最近は一段落。先行き不透明感が強い。好調企業、不調企業の二極化に変化なし。電気炉の更新期に入ってきているが、組合員企業の中には電気炉からの撤退を進めるところもある。また、メンテナンス等でも苦慮しており、部品によっては３ヶ月を要する修理となる場合もあり、会社存続の致命傷になりかねない。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

組合員間でバラツキはあるものの、受注好調な企業が増えている。電気使用量は、前年同期比で110.2%となっている。

〈電気機器〉

〔電気機械器具製造業〕

売上は、前月比でも、前年同月比でも増加。産業用ロボット関連は、依然国内外共好調に推移している。前月度比でも増加。更なる増産を期待している。

非製造業

〈卸売業〉

〔電設資材卸売業〕

暖冬でエアコンの売れ行きが伸びず、関連材料の売れ行きも悪い。

〈小売業〉

〔食肉小売業〕

11月29日「いい肉の日」は、組合員各社盛況で売上アップにもつながった。国産豚肉の仕入れ価格相場がやや下落し、利益率の上昇に貢献したが、国産牛肉の相場は相変わらず上昇。また、パート等人件費の上昇が著しく、収益圧迫の原因となっている。高校新卒求人にも応募はなく、人手不足となっている。

〔書籍・雑誌小売業〕

トーハンは27年度版「書店経営の実態」を発行。それによると、平均売上高伸長率はマイナス3.37%で、20年連続のマイナス成長に。当組合の組合員数は、９月末で８人減少（廃業）で、264人。

〈商店街〉

〔大川市〕

大川市の経営環境は大変厳しくなっている。地場産業である家具関連の業績が悪化していることから商店街においても大きく影響を受けている事と今年の暖冬により冬物衣料の売上が減少している。

〈サービス業〉

〔クリーニング業〕

季節の変わり目で微妙ながら好転している。また、経営状況の良い店と厳しい店の差が生じている。

〔警備業〕

人手の確保が難しい。

〈建設業〉

〔総合工事〕

建設労働者の賃金アップにより経営が厳しい。これは人手不足によるものだが、新卒者の建設会社希望者が激減し、中途採用希望者も少ない。現場監督になる社員が不足している。

〈運送業〉

〔道路貨物運送業〕

11月は、各組合員平均で売上については若干増加した。収益については引き続き原油価格が前年同月に比べ下がったことにより、燃料コストも下がり収益は前年比で好転した。

福岡県の業種別D・I値の変化

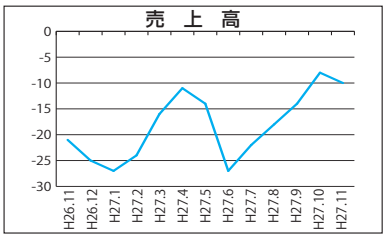
（福岡県中小企業団体中央会調査）

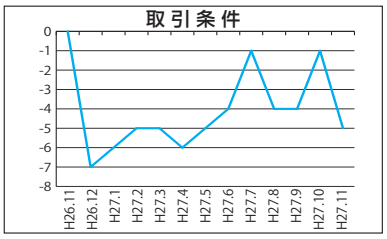
業種 ＼ 項目		前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
	繊維・同製品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	木材・木製品	→	↘	→	→	↘	↘	→	↗	↘
	印刷	↓	→	→	→	→	→	→	↗	↓
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	→	→	↘	→	↘	→	→	→	↘
非製造業	卸売業	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	小売業	↓	→	→	→	→	→	—	→	↓
	商店街	↘	→	→	→	↘	↘	—	→	↓
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	→	—	→	→	↑	→	—	→	→
D・I		−10	−3	−2	−5	−17	−12	3	0	−25

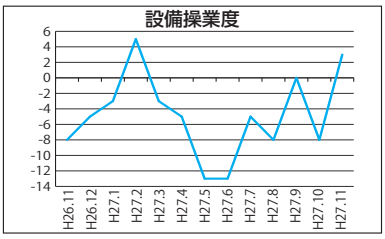
↑ 増加・上昇・好転　→ 不変　↓ 減少・下落・悪化

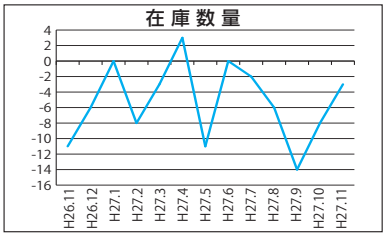
D・Iとは・・・Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

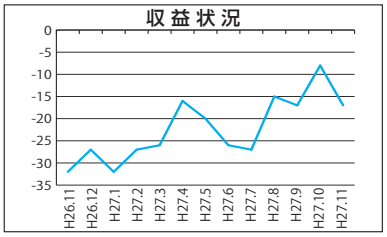
●前月比D・Iの動きをみると、9項目中6項目が下降している。

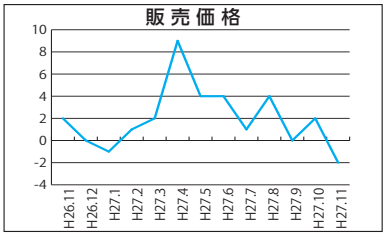


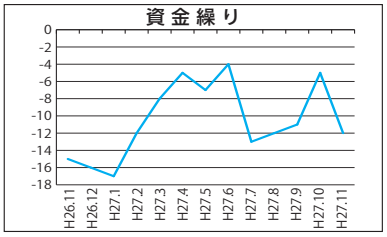


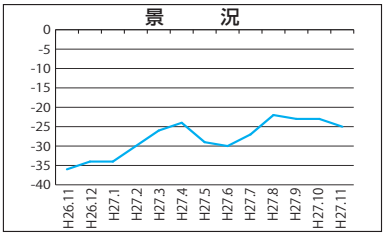












全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査（情報連絡員全国集計）を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ　http://www.chuokai.or.jp/